



け

けんかは日課 育ちの芽



「けんか」って、なんででしょう？

少し大きな子どもなら、自己主張だったり、意見が合わなかったり、様々な原因で「けんか」が勃発します。でも、赤ちゃんのけんかは、おもちゃの取り合い程度で、それも「楽しそうなので、自分もそれで遊びたい」などの些細なことが殆んどです。そうは言うものの、赤ちゃんのけんかは、噛んだり、ひっかいたりすることもあるので、おもちゃを取った方の親も、取られた方の親も、ハラハラドキドキでしょう。

赤ちゃんは、まだ言葉で「貸して」と言えないし、順番の認識や、「みんなだ」という社会性もありません。当然、悪気もなく、わがままを言っているのでもあ

りません。

一緒に遊びながら、人の遊んでいる物を取ったり、取られたことで泣いたりすることは、大人と過ごすだけでは遭遇しない貴重な経験をしている時なのです。「今、大切な経験を積んでいるんだ」と、おおらかに見守れるといいですね。

こんな経験を積み重ねて、いつしか相手の気持ちができるようになるなり、一緒に遊んだり、「貸して」「いいよ」のやりとりができるようになっていくのです。みんな、色んな失敗や経験を積み重ねて大きくなっていくのです。